

代替養育を必要とする児童数の再試算

資料2-1

6月24日の第3回専門部会で提案した「代替養育を必要とする子供数の試算」について、養護相談件数等を直近(H30年度)の実績に更新し、潜在需要については、学校・教育委員会等における緊急点検結果(平成31年2月等調査)を新規追加。児童相談所調査結果については、令和元年5月1日時点に更新し、さらに補足調査の結果を反映させた。

再試算結果

(試算の詳細は資料2-2のとおり)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
代替養育が必要な児童数試算	3,981	4,099	4,197	4,278	4,346	4,403	4,452	4,493	4,525	4,551	4,571	4,587
潜在需要(在宅指導中)		117	117	117	118	118	118	118	118	118	118	118
潜在需要(緊急点検・虐待の恐れ)		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
代替養育が必要な児童数試算		4,220	4,318	4,399	4,468	4,525	4,574	4,615	4,647	4,673	4,693	4,709

里親等委託率算出の考え方

施設養育が必要な児童の人数を算出し、それ以外を里親等への委託が可能な児童とする。

児童相談所調査から施設養育が必要な児童の割合を試算

施設入所中児童のうち、児童相談所に対する調査(平成30年5月)で「里親等委託が適していない」と判断した児童から見込む。

<児童相談所が里親等委託が適していない(施設養育が必要)と判断した理由>

★重度の障害 ★高い非行性 ★医療的ケアの必要 ★保護者の状況から困難 ★情緒・行動上の問題が著しい ★本人が里親等委託を明確に拒否 ★本人が施設入所継続希望 ★その他

★家庭復帰に向け施設にて交流支援中

「家庭復帰に向け施設にて交流支援中」の児童について里親等委託が可能か検討

児童相談所に対する調査結果を令和元年5月時点に更新し、さらに当該児童の補足調査の結果、委託促進対策を講じることで、このうち約43%が「里親等への委託が可能」と見込む

将来に向け必要な里親等登録数

	平成30年度		令和11年度
委託児童数	570人	⇒	1,761人
里親等登録数	849家庭	⇒	2,624家庭

※平成30年度末時点の全里親等登録家庭のうち、児童委託中の家庭は約67%のため、約1.49倍の登録家庭が必要

前回

施設養育 71.4% (3,077人)
里親等委託 28.6% (1,230人)

代替養育を必要とする児童の見込数 計4,307人

※最新データの反映等により増加
・H30養護相談件数に時点更新
・潜在需要(虐待緊急点検結果)を追加

今回

施設養育 62.6% (2,948人)
里親等委託 37.4% (1,761人)
(参考)国策定要領による試算 55.8%

代替養育を必要とする児童の見込数 計4,709人

(参考) 個別的・専門的なケアが必要な児童

入所児童が抱える問題等調べ（平成30年6月1日在籍児童（措置停止児童は除く））

対象児童数

2,722名 (2,793名)

※斜線数字は前回計画時(平成26年度調査)結果

都立・民間児童養護施設集計

事項	ア 反社会的行為							イ 非社会的行為					ウ 精神的・発達的な問題				
	(1) 無断外泊・無断外出	(2) 万引き・窃盗(施設外で)	(3) 金品(施設から)持ち出し	(4) 暴力・破壊行為(施設内で)	(5) 暴力・破壊行為(学校等で)	(6) 飲酒・喫煙	該当実人数	(1) ひきこもり・不登校	(2) 授業妨害(アの(5)以外)	(3) 施設内いじめ(暴力を伴わない)	(4) その他、社会性の未熟	該当実人数	(1) 精神の病氣	(2) 知的障害(遅れ)	(3) 広汎性発達障害等	(4) LD・ADHD	該当実人数
該当児童数	158	126	96	340	117	43	545	169	91	152	928	1,027	117	389	204	247	738
対象者割合(%)	5.8%	4.6%	3.5%	12.5%	4.3%	1.6%	20.0%	6.2%	3.3%	5.6%	34.1%	37.7%	4.3%	14.3%	7.5%	9.1%	27.1%
(参考)H26調査	152	130	78	315	109	95	568	150	84	132	724	875	117	400	215	210	784
	5.4%	4.7%	2.8%	11.3%	3.9%	3.4%	20.3%	5.4%	3.0%	4.7%	25.9%	31.3%	4.2%	14.3%	7.7%	7.5%	28.1%

事項	エ 情緒的な問題					オ 健康上の問題							
	(1) 夜尿、失禁(小学生以上で)	(2) パニック	(3) 性的問題・性的暴力等	(4) その他、対人関係不調	該当実人数	(1) アトピー等皮膚疾患	(2) 喘息等呼吸器疾患	(3) 病弱・虚弱	(4) てんかん	(5) アレルギー	(6) その他の医療的ケアが必要	該当実人数	
該当児童数	218	162	219	822	1,048	227	157	47	34	381	543	988	
対象者割合(%)	8.0%	6.0%	8.0%	30.2%	38.5%	8.3%	5.8%	1.7%	1.2%	14.0%	19.9%	36.3%	
(参考)H26調査	219	154	230	770	1,072	191	162	31	54	351	591	1,076	
	7.8%	5.5%	8.2%	27.6%	38.4%	6.8%	5.8%	1.1%	1.9%	12.6%	21.2%	38.5%	

比較			
	ア～オ 1項目以上	該当なし	合計
今回	2,007	715	2,722
	73.7%	26.3%	
前回	2,019	774	2,793
	72.3%	27.7%	

平成30年6月1日児童養護施設在籍対象児童(2,722人)のうち、個別的・専門的ケアを必要とする児童(ア 反社会的行為 イ 非社会的行為 ウ 精神的・発達的な問題 エ 情緒的な問題 オ 健康上の問題のいずれかに該当)は、2,007人(実人数)、73.7%であり、前回計画時(2,019人(実人員) 72.3%)とほぼ変わらず、依然として問題を抱え個別的・専門的ケアを必要としている児童は多い。